



第五一回秋田県消防操法大会

大潟村消防団全国大会に出場



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第五一回秋田県消防操法大会は九月四日(木)、秋田県消防学校放水訓練場(由利本荘市岩城)において行われました。

仙北市消防団 佐々木久悦団長の総指揮により選手が入場、引き続き開会式が行われ、前年度の優勝団から優勝旗が返還された後、堀井啓一秋田県副知事並びに中田潤 秋田県消防協会長が主催者のあいさつを述べました。

また、多数のご来賓を代表して、秋田県議会総務企画委員長 加藤鉦一様からご祝辞をいただきました。

中村基 秋田県消防学校長から審査長指示があり、昨年度総合優勝の能代市山本郡支部三種町消防団 工藤仁徳部長が選手宣誓を行いました。

県内九支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部九分団、ポンプ車操法の部七分団が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

今大会は、一月八日(土)東京都で開催される、第二四回全国消防操法大会の出場予選も兼ねて実施されました。

これまで本県代表として全国大会に出場した団は、平成八年と一六年の優勝二回を含めて、いずれも優良賞以上を受賞しております。

また、今年の大大会から、新たにチーム表彰に加えて、優秀な成績を収めた消防団員を「優秀選手賞」として表彰しました。

競技の結果は別記のとおりですが、ポンプ車操法の部で優勝した大潟村消防団第三分団には全国大会での健闘を期待しております。



平成二十六年全国統一防火標語
もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

平成二十六年秋の火災予防運動
十一月二日(日)〜十一月八日(土)

競技審査の講評

各出場団は、それぞれ支部代表として熱戦を繰り広げましたが、大会の審査班長(後藤洋明 秋田県消防学校教務班長)から審査を通じて感じた事項や印象などを伺いましたので紹介します。

■総合

今年には全国大会があるためか、全体的にレベルアップが感じられた。しかし、注水姿勢や結合などの基本動作が雑な印象を受けた。

なお審査員がコース両側から審査する全国大会同等の審査要領を試みたところである。

■小型ポンプ操法の部

年々熟練されてきているが、半数近い隊で規定外圧力送水、筒先側のブレ、乱雑なホース展張要領など、改善課題は多いと思う。

■ポンプ車操法の部

士気も高く、ホースラインも全体的に良好であったが、タイムに關係のない動作が緩慢な隊や器具愛護に欠ける隊も見受けられた。

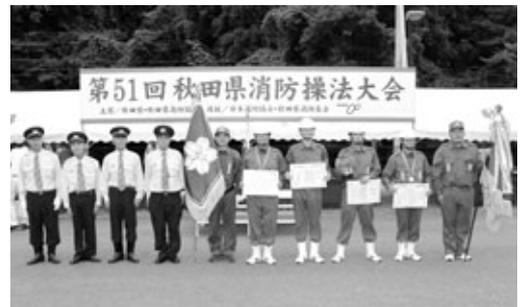


審査員の皆さん

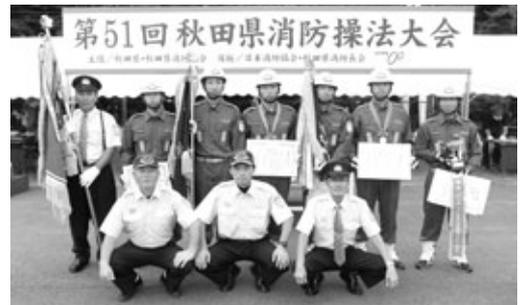
第51回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	美郷町消防団第2分団	41.62	88.5
第2位	小坂町消防団第4分団	43.94	81.0
第3位	三種町消防団山本支団第4分団	44.95	80.5
優秀賞	にかほ市消防団第3分団	44.82	77.5
	横手市山内消防団第1分団	44.34	69.5
	大瀧村消防団第1分団	42.66	69.0
	東成瀬村消防団第1分団	46.64	68.5
	秋田市消防団四ツ小屋分団	44.94	67.5
	大館市消防団田代第4分団	47.66	61.5



美郷町消防団 第2分団



大瀧村消防団 第3分団

【ポンプ車操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)		総得点(点)
		第1線	第2線	
優勝	大瀧村消防団第3分団	53.25	63.52	173.0
第2位	横手市十文字消防団第3分団	52.31	63.92	171.0
第3位	三種町消防団琴丘支団第1分団	52.09	64.50	170.5
優秀賞	鹿角市消防団第5分団	56.78	65.79	169.5
	大館市消防団比内第1分団	53.61	69.05	160.5
	秋田市消防団城東分団	58.55	71.24	149.5
	にかほ市消防団第3分団	61.66	65.68	144.5



能代市山本郡支部

【総合の部】

優勝 能代市山本郡支部 (総得点 251.0点)

【優秀選手賞】

区分	小型ポンプ操法		ポンプ車操法	
	消防団名	氏名	消防団名	氏名
指揮者	美郷町消防団第2分団	齊藤 民寿	大館市消防団比内第1分団	長田 雅
1番員	大瀧村消防団第1分団	清塚 淳一	秋田市消防団城東分団	国井 俊
2番員	小坂町消防団第4分団	赤川 和也	大瀧村消防団第3分団	村上 直樹
3番員	美郷町消防団第2分団	高階 充	鹿角市消防団第5分団	安保 崇司
4番員			大瀧村消防団第3分団	吉原 忍



優秀選手の皆さん

操 法 披 露

◎軽可搬ポンプ操法 大仙市女性消防隊

平成二七年度に開催される、全国女性消防操法大会に出場が決定している大仙市女性消防隊の軽可搬ポンプ操法が、昨年度に引き続き披露されました。

- 指揮者 一色 順子
- 一番員 畠 山 忍
- 二番員 相 馬 静 華
- 三番員 佐 藤 久 子
- 四番員 鈴 木 美也子



◎二線操法 羽後町消防団

二線操法は、小型ポンプ操法を基本とし、二股分水器という器具を使用、ホースを二本延長して放水するものです。

技術の習得を目的としており、町の大会で、一つの分団が毎年持ち回りでを行っています。

- 指揮者 班長 高 橋 克 宗
- 一番員 団員 原 田 隆 和
- 二番員 団員 武 田 隆 和
- 三番員 団員 高 橋 和 大
- 四番員 団員 三 橋 哲 也



全国消防殉職者慰霊祭

(公財)日本消防協会

第三三回全国消防殉職者慰霊祭は、九月一日(木)午前一〇時から日本消防会館ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)で行われ、秋本敏文日本消防協会長の式辞に続き、安倍晋三内閣総理大臣、高市早苗総務大臣らが追悼のことばを述べられました。

全国の殉職者数は、新たに合祀された三柱を加え五、六八二柱となりました。



御霊の奉納



安倍 総理

■本県から出席したご遺族

殉職者氏名		遺族氏名	
杉 渕 導之助	杉 渕 伊代子	杉 渕 景悦	
富 永 新吉	富 永 有人		



秋本日消会長



ご遺族と草薨副会長



鎮魂の歌 (木遣り)



秋 田 県
消防学校

初任教育第六八期修了式
七八名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第六八期初任教育の修了式が九月一九日(金)、同校の屋内訓練場で修了生のご家族やご来賓約二〇〇名が出席して行われました。七八名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、それぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動することになります。

修了式は、最初に中村学校長が修了生一人ひとりに修了証書を、また成績優秀者に表彰状を授与した後、学校長式辞、副知事あいさつ、来賓祝辞と続き、修了生が答辞を述べ、最後に校歌を斉唱して終わりました。

表彰状授与

優 秀 賞(八名)

- | | |
|------------------|-------|
| 秋田市消防本部 | 河本 優也 |
| 秋田市消防本部 | 齊藤 裕之 |
| 秋田市消防本部 | 船木 浩太 |
| 由利本荘市消防本部 | 小松 真文 |
| 横手市消防本部 | 岡本 卓磨 |
| 五城目町消防本部 | 伊藤 駿 |
| 能代山本広域市町村圏組合消防本部 | 小川 稜二 |
| 能代山本広域市町村圏組合消防本部 | 澤田石貞彦 |
- 功 勞 章(五名)
- | | |
|------------------|-------|
| 秋田市消防本部 | 松嶋 宏知 |
| 大館市消防本部 | 花田 望 |
| 由利本荘市消防本部 | 堀 幸助 |
| 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 | 鈴木 芳也 |
| 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 | 高橋 克成 |

学校長式辞



秋田県消防学校
学校長
中村 基

皆さんは、来週から各消防本部に戻り、第一線での消防業務に就きます。現場においては、真つ正面から立ち向かい、心は「県民の命、財産を守る」という熱き魂で、頭はクールに冷静な目で事態を見極め、果敢に挑戦してください。自ら選択した消防人生です。初心を忘れず、夢を持ち続け、信念を貫き、勇気を持って職責を果たしていただきたい。各消防本部では、皆さんの若い力と熱い思いに期待しています。そして、それ以上に県民が皆さんに大きな期待を寄せております。

皆さんの半年間の努力に、深く敬意を表します。どうか、健康や事故には、くれぐれもご留意され、楽しく充実した消防人生を歩んでください。



修了生答辞



大館市消防本部
消防士
花田 望

春、夏、秋と季節も移り変わり、いよいよこの消防学校を巣立ち現場で活躍する時がきました。

近年では、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。こうした中で、私たちは地域住民の生命、身体及び財産を火災から保護し水火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、困っている人を助けたいという初心と使命感を忘れず消防業務に尽力していきたいと思います。この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。



第68期
新任教育

半年間を
振り返って

秋田県消防学校

秋田市消防本部 船木 浩太

四月から始まった私の消防人生。中身の濃い半年間を過ごさせて頂いた。最高の思い出になると思う。しかし、ゴールではなくスタートである。初任科教育で出会った仲間と修得した知識、技術を忘れることなく、次のステップへと進み、これからの消防人生を全うしたい。

大館市消防本部 千葉 優

毎日が内容の濃い半年間で、長いようで短かった消防学校生活は自分にとって最高の経験になった。これから所属に帰っても今以上の訓練と経験を積み重ね、一日でも早く一人前の消防士になれるよう日々鍛え続けていく。

北秋田市消防本部 長野 真也

四月、消防学校に入校した時は九月までは長いなと感じていましたが、月日の経つのは早いもので、もう九月になってしまった。嬉しかったこと、また悲しかったことも色々あったが、こうして乗り越えることができたのは、両親をはじめ、友達、指導してくださった教官、そして六八

期の仲間がいたからだと思う。ここで学んだことを忘れずにこれからも頑張っていきたい。

由利本荘市消防本部 渡部 命

社会人としての経験が全くなかった私には、志もなく不安と緊張の中で過ごしていましたが、仲間、教官方のお陰で大きく成長できたと思う。これから誰かの役に立てる消防士を目指して頑張りたい。

にかほ市消防本部 須田 雄也

この半年間で厳しく指導され、私は自分の気持ちの弱さを知った。支えてくれた仲間や部屋のメンバーにとても感謝している。この気持ちも忘れずに所属に帰っても何事にも諦めず挑戦していきたい。

横手市消防本部 柿崎 知磨

消防士一年目として、社会人一年目として学ぶべきことが沢山あり、土台をしっかりと固めることが出来た半年間だった。ここで学んだことを忘れずに、優しい消防士になれるように頑張っていきたい。

五城目町消防本部 伊藤 駿

この半年間の学校生活では消防に関する多くの知識や技術を学ぶことができ、また共同生活を通じて人間的にも成長できた。とても有意義な時間を過ごせたと思う。

鹿角広域消防本部 板橋健太郎

半年間の初任科教育では教官方からの厳しい指導の下で仲間達と盛り上げて訓練を行うことが出来た。教官方、六八期の皆さん本当にありがとうございました。

能代山本広域消防本部 小川 稜二

初めは緊張と不安でいっぱいだった。今となっては卒業したくない気持ちもあるが、卒業後みんな一人前の消防士になって会えるように、これからも頑張っていきたい。

湖東地区消防本部 加賀屋恵介

六八期の同期との仲が深まっていくことで、ここでの生活が大切なものと思えるようになった。配属後も消防人としての向上心を持ち、訓練に励みたい。

大曲仙北広域消防本部 千葉 将太

成長して見せると意気込んで入校したが、いつも周囲の人々に助けられてばかりだった。教官など、皆さんに怒られた数も、それ以上に感謝した数は、数え切れない。皆さん、本当にありがとう。

湯沢雄勝広域消防本部 藤田 大貴

半年間で培った消防精神は、一生の糧となると思う。そして何より、助けを求めている人に自ら手を差し伸べられる人間になりたい。

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸着管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

第十回 消防団員 意見発表会(三)



横田 定和
秋田市消防団副団長
勤続三十五年
自営業

雄和地区を統括する副団長で、災害時は方面隊長としても尽力。研修会や会議でリーダーシップを発揮しています。

「三四年前」

「ジリジリジリ」集会所に一本の電話。

時間は午後八時前後、私は地元の青年会に頼まれて、すぐ間近に迫った神社の祭りに青年会の若い者があがる酒樽と餅樽にまわす、しめ縄を編んでおりました。

電話をとったのは青年会女子部の美人です。かわいらしいその容姿からは想像もできない秋田弁が飛び出しました。「〇〇商店が火事だど」「何したど」私達は集会所から一斉に外に出ました。見ると南の空がものすごい火柱で真っ赤、私達はしばし呆然としておりました。

「ポンプ持っていくど」誰かが叫

び、ハッと我に返りました。ポンプ小屋は集会所のすぐ隣でしたので、シャッターを上げてポンプを引っ張り出しました。ポンプは台車に乗ったポンプでしたので、引っ張る人、押す人、サイレンを回す人、任務分担は最高です。

サイレンを回す人は夢中です。「ウーウーウー」サイレンを聞いて町内の人達が外に出て来ました。野次馬で町内は大変でした。私はチラッと水揚げは失敗できないと萎縮してしまいました。

ポンプは旧式で熟練が必要です、スターターに紐を巻いてチョークを引いて一回目はありったけ、二回目はチョークを戻して乱気になって引っ張るのです。これでかからなければ、ポンプはコツケてしまう骨董品でした。当時、二年弱の私にはとてもとても始動できるポンプではございません。

現場に着くと、怖い顔した大ベテランの先輩団員が待っていました。で、「先輩、お願いします」「定和、おめの町内のポンプ持ってこい」と言いつけられました。火事場を前にして若者はまた走らなければなりません。足はパンパン、それを見た町内の人が「この軽トラ使え」と貸してくれました。祭りの前で火事が起きたのでみんな親切です。(いいえ、私の町内の人は普段から親切です)

ポンプ小屋に着いて、まず隣の家に行って「〇〇商店が火事なので班長さんに電話頼む、それから俺さ長靴かしてけれ」・・・祭りの前です。まんまと長靴借りて、ポンプ小屋に行くとポンプを軽トラに乗せようとしています。「物忘れるのでこのまま引っ張って行くべ」と一キロ弱を猛ダッシュしました。

現場近くの水路に着いたら、班長さんは筒先を背負いホースを延ばし暗闇の中へ、私は台車を水平にして吸管の蛇籠を水路に入れ、エンジン始動です。私の町内のポンプは当時最新式でセル付きです。とは言いがらかかるまでは不安です。「何とかかかってけれ」一発でした！真空もオーケー！しかし伝令がなかなか来ません。私はジラットして全開で送ってやりました。「ジュール、ジュール、ジュール」おやつ！今度は水路の水が切れました。これは三四年経った今でもシーです。

火の勢いは凄いものでした。商品が爆発し、その度にももの凄い火柱が上がり、辺りが明るくなるくらいです。延焼をくい止めるのがやっとだったそうです。鎮火後も夜を徹して警戒、やがて朝になって全容が見えて来たときは、とてもむなししい思いであったことを覚えています。

日中、後片付けをしていた時「隣の家から又煙が出てきた」と連絡が

入り行ってみると、火はまた燃え上がるうとしていました。トビ口でトタンを剥がし火種をたたきました。私が今日なぜこの昔の火事の話をしたかと申しますと、この火災は昭和五六年六月二五日に発生し、二戸焼失した火災です。二六日は秋田空港の開港記念日、二七日は神社の宵宮、二八日、六月二八日、今日は神社の本宮祭りなのです。この祭り好きの私が相変わらず、消防で忙しくしているのを皆さんに分かってもらいたかったのです。



渡辺 憲
由利本荘市消防団分団長
勤続二十二年
会社員

入団以来、第一戦で活動。支団本部に所属する現在も、後進の育成などに精力的に取り組んでいます。

「やりたいこと・やれること」

「こと・やるべきこと」

私が消防団に入ったのは二六歳の時で、数年前から誘われていたのですが、仕事が秋田市ということ、やんわりとお断りしていました。

それが二五歳のお祭りの準備や練

習をしている時でした。私の地元、矢島町には「八朔祭り」というお祭りがあり、私が所属している町内は、その中でも伝統のある町内で、歌舞伎の化粧をして踊りながら練り歩く姿は、見物客の注目の的になります。そんな所で育った私は、物心ついた頃からお祭りが大好きで、何をおいてもお祭りには参加していました。この頃も仕事は秋田市で、そろそろアパートを借りようかと思っていた時期で、そんなことを話ながら作業をしていました。

その時、ある先輩が「憲ちゃん、消防さんも入ってみねが？」とまたお誘いをいただきました。「いやー、矢島さいねがもしえねがら、ちよつと厳しいんでねすか?」「なんも、矢島さ住所あればいいんだから、取り敢えず、入ってみれつて」「それでいいんだすか? 火事あつてもなかなか来れねすで」「なんも、来れる時に来てければいいつて」「・・・」返答に困つていた私に、「憲ちゃん、憲ちゃんお祭り好きだろ? お祭りやるためには、町を守らねばねんだで! 町が平和でねば、お祭りしてらえねがろ? この町さ住んでる人は、みんなお祭りさ参加する権利あるども、守る義務もあるんだで!」そう言われた私は、断る理由が無くなりました。当時としては、お祭りをやるために!それが最大唯一の理由でした。

その次の年、私は消防団に入りました。お祭りではナンバーワンの町内ですが、消防はいつも最下位のほうでした。最初の年から操法の選手をさせられました。練習も朝に一回だけで、水を揚げたのも、大会前日の一回だけでした。だから自分より若い人達に同じように声をかけ、消防団でも自慢できることがあるんだということも伝え、守つていかなければいけないんだと教えていくようにもなりました。

そんな我が分団に転機が訪れました。分団統合です。大会でよく優勝する強豪分団と一緒に、消防に対する考え方が、がらりと変わつていきました。正しい知識と操作、統制をもつて現場で活動しないといけない!そのための訓練、大会なのだ・・・。

それを今度は、自分が教えられない、分が教えられる、団員達が



安全に活動できるような組織にしていかなければならないと思い、分団引退後に本部から声をかけられて再入団しました。そこで、これからどうやって何を伝えていくか? どうやって指導していくか?

去年私は初めてドイツニールランドに行つて来ました。周りからは「憲さん、あそこは一年中お祭りのどころだすで! お祭り好きの憲さんさピッタリのどころだから、楽しんで来て下さい。」と言われていました。実際、楽しくてしょうがない所でした。パレードなんか、見てる人もやつている人も楽しく嬉しそうにして、自分のところのお祭りとはダブつてしまい、最高に感激しました。

それと同時に、今ここで地震とかの災害があつたらどうすればいいのかと考えている自分がありました。勿論ランド内の避難マニュアルもあるでしょうから、勝手には動けないと思ひますが、自分にできることはなんだ? 人に頼めることは何だと? 周囲を見回すと、車椅子の人がいたり、子どもを何人か見てるお母さんがいたり、避難するのに難儀しそうな人が何人かいました。何かあつたら直ぐに、家族の安全を確保するとともに、困つている人を補助したり協力できる心の準備をしておくべきだなあと思うとともに、自分も消防人になつたな、と密かにニヤリとしてし

まいりました。お祭りも夢の国も、楽しいことはみんなやりたいと思つています。そこで何ができて何ができないか? 何が必要で何が足りないか? 考えることはできると思ひます。

そしていざ、それを実行に移す時、実行できる知識や技量はあるのか? 我々消防人は、その知識や技量を身につけられる立場にいます。我々消防人は、その知識や技量で生命財産を守るべき立場にいます。私はお祭りの楽しさや楽しみ方をずっと伝えていきたいと思ひます。そして、お祭りを続けていくために、地域に人がいなければならぬこと、その人達や家族や地域を守らなければならぬことも教えていかなければなりません。更に大きく言えば、由利本荘市が、秋田県が、日本が平和で安心して暮らせる場所であり続けるために、消防団活動を通じて、団員それぞれがやりたいこと、やれること、やるべきことを認識し実行していきけるように指導していくとともに、自分自身も見本になれるような活動をしていきたいと思ひます。

最後に、私を消防団に誘つてくれた先輩方、一緒に消防団活動をしてきた仲間達、ここにご参加の消防関係者の皆様に感謝申し上げて終わりにします。ありがとうございます。

支部情報アラカルト

「女性消防団員が目指すものを探して」

〓 男鹿潟上南秋支部 〓

八月二日、潟上市消防団は大仙市消防団と女性消防団員の意見交換を行いました。

現在、潟上市消防団の女性団員は一九名おりますが、実践的な活動が出来ていない現状を踏まえ、先進的な活動をされている大仙市女性消防団員の日々の活動を学ぶこと、また、懇親会を開くことで、団員間の絆を深めることを目的に、両消防団が県内では初めて？実施したものです。

特に、大仙市の女性消防団員は「軽可搬ポンプ操作」にも取り組んでおり、操作の映像を観ながら「家族の協力はあるか？」「良かったこと」など「は？」などの意見交換の中でも、和気あいあいと楽しく有意義な時間を過ごすことができた。



導、防火訪問などのきめ細かな消防活動が期待されています。

潟上市消防団も女性団員を増やしつつ、今後、より実践的な活動を展開していかねばならないと考えております。

県内の女性消防団員の皆さん、どんな各町村の女性消防団員と交流して「秋田県的女性消防団員の絆は全国一番となるよ」となるよう一緒に活動していきましよう。



ました。近年、全国的に消防団員が減少している中で、女性消防団員は増加しており、広報活動や防火指導

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成26年		平成25年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建物	10	154	12	154	204	- 2	0
林野	1	43	0	34	34	1	9
車輜	1	19	3	32	39	- 2	-13
その他	2	59	3	62	72	- 1	- 3
合計	14	275	18	282	349	- 4	- 7
死者数	0	27	1	17	22	- 1	10
負傷者数	4	48	5	55	66	- 1	- 7

平成26年度 防火ポスターコンクール

最優秀賞

埼玉県熊谷市立別府小学校

5年 志賀 友里乃さん



(生活協同組合全日本消防人共済会 提供)

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 Ⅱ(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp